学校番号	２０１

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学ＩＡ演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	改訂版シニア数学演習Ⅰ・Ⅱ・Ａ・Ｂ・Ｃ〔ベクトル〕（数研出版） プレテストＨａｒｆ数学ＩＡ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業用ノートを用意してください。
・共通テストに向けて１年次履修した数学ＩＡの復習をします。
・授業の進め方は、要点をこちらで解説→その後演習という形になります。
・授業のためというより、入試のために予習復習は必ずしてください。
・特に、「最初はわからなかったけど解説を聞いたら理解できた」という問題は、もう一度自分で解答をつくれるように練習してください。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 数学ＩＡの分野の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用し、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学ＩＡの分野の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用し、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数学ＩA復習	・数と式 ・集合と命題 ・2次関数	a:数学Ⅰで学習した公式を用いて,答えを導くことができる。 b:数学Ⅰで学習した考え方を用いて,式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c: 数学Ⅰで学習した知識と問題を関連付け,粘り強く考え判断しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
		・図形と計量 ・データの分析 ・場合の数と確率	a:数学Ⅰ・数学Aで学習した公式を用いて,答えを導くことができる。 b:数学Ⅰ・数学Aで学習した考え方を用いて,式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c: 数学Ⅰ・数学Aで学習した知識と問題を関連付け,粘り強く考え判断しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
2学期		・図形の性質 ・整数の性質	a:数学Aで学習した公式を用いて,答えを導くことができる。 b:数学Aで学習した考え方を用いて,式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c:数学Aで学習した知識と問題を関連付け,粘り強く考え判断しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
	共通テスト対策	・プレテストHarf　数学ＩA	a:数学Ⅰ・数学Aで学習した公式を用いて,答えを導くことができる。 b:数学Ⅰ・数学Aで学習した考え方を用いて,式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c: 数学Ⅰ・数学Aで学習した知識と問題を関連付け,粘り強く考え判断しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート

3学期	共通テスト対策	・プレテストHarf　数学ⅠA	a:数学Ⅰ・数学Aで学習した公式を用いて,答えを導くことができる。 b:数学Ⅰ・数学Aで学習した考え方を用いて,式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c: 数学Ⅰ・数学Aで学習した知識と問題を関連付け,粘り強く考え判断しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
	2次試験対策	・過去問演習	a:数学Ⅰ・数学Aで学習した公式を用いて,答えを導くことができる。 b:数学Ⅰ・数学Aで学習した考え方を用いて,式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c: 数学Ⅰ・数学Aで学習した知識と問題を関連付け,粘り強く考え判断しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度